



▲自然豊かな日野町の景色と、旧鎌掛小学校の歴史ある
建物が融合し、昔にタイムスリップしたかのよう

旧鎌掛小学校がドラマの舞台に NHKドラマ「15歳の志願兵」

6月19日(土)、20日(日)、7月7日(水)の3日間、旧鎌掛小学校のグラウンドで、NHKスペシャル・終戦特集ドラマ「15歳の志願兵」の撮影が行われました。これは、愛知県を舞台に軍国少年を生み出した裏側をドラマ化したものです。

俳優の高橋克典さんをはじめエキストラなど、約200名が集まり、戦争へ向かう少年たちを学校で見送る場面が撮影されました。

6月20日(日)の撮影には、日野町から瀬川幹雄さん(鎌掛6区)と松村亜有子さん(中在寺)が少年兵を見送る保護者役として出演されました。

このドラマは、NHKで8月15日(日)夜9時から放送される予定です。

▶松村亜有子さん



暑い中での撮影となりました。本番は、周りの雰囲気になんとか緊張しましたが、楽しむことができました。

▶瀬川幹雄さん



撮影の裏側を知ることができ、普段味わうことの出来ない経験をすることができました。

三方よし! 近江日野 田舎体験

まちの伝統文化を体験 インドの中学・高校生を町内で受け入れ

6月26日(土)、27日(日)、インドの中学・高校生ら24名が来町されました。この事業は、日本政府主催の21世紀東アジア青少年大交流計画として、東アジア域内の相互理解を促進するためのもので、日本滞在10日間の内の2日間を日野町で過ごされました。

近江日野商人館で歴史について学ばれた後、ボランティアガイドの案内で馬見岡綿向神社などを見学されました。その後は、大津にある今井町会議所で日野祭囃子を習って一緒に演奏し、伝統文化を体験されました。

夜は町内8軒の受け入れ家庭で、日本の生活文化に触れられました。



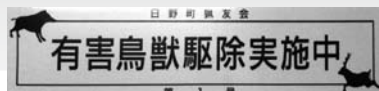
▲大津・今井町会議所で、日野祭曳山囃子方交流会や今井町の皆さんと祭囃子を演奏されました

▶歓送会では、受け入れ家庭の方と一緒に練習された「どじょうすくい」を披露されました



◀色とりどりの浴衣を着せてもらう研修生。受け入れ家庭ごとに、さまざまな日本文化を体験されました

車両用マグネットシート▶



▲オレンジ色の「駆除従事者」の腕章を身につけた日野町猟友会の皆さん

オレンジ色が「安全」の目印!!

日野町猟友会の新たな取り組み

6月27日(日)、シカによる農作物の食害軽減のため、日野町猟友会による有害駆除が町内の山林にて行われました。

近年、他府県にて有害駆除中の猟友会会員による誤射事故が多発しているのを受け、日野町猟友会では事故防止策の一つとしてオレンジ色の腕章と車両用マグネットシートを作成されました。吉澤郁一会長は、オレンジ色の猟友会のベストと共に腕章を身にまとい「会員はもとより、地域の方々にも駆除実施中であることを知っていただき、安全第一に活動を行いたい」と話されていました。

付近でこのようなマグネットを貼った車を見られた時は、安全のため近づかないようお願いします。

地域のことは地域で守りたい

安部居地区で「留守まもり隊」結成

7月4日(日)、安部居地区で初期消火の講習が行われ、日野消防署員から、消火器の使い方や、住宅用火災警報器の設置について説明を受けられました。

この講習は、安部居の防災・防犯組織として、このほど立ち上げられた「留守まもり隊」の事業として、安部居自警団と合同で行われたものです。

「留守まもり隊」は、安部居地区の方がボランティアで結成され、有志の方男女合わせて約20名で始まりました。発起人の堀口利雄さんは、「人が少ない昼間の時間帯など、火事だけでなくきめ細かく地域を守っていききたい。そして、『1軒1人はまもり隊』を目標にしていきたい」と話されました。



▲消防署員の指導を受けて、初期消火の体験をされました



▲「10分間浮いてみよう」と服を着てプールの中に入り、挑戦する子どもたち

服を着たまふいてみよう

ちびっこ水泳教室で着衣水泳

7月9日(金)、町内の小学生が参加する「ちびっこ水泳教室」で着衣水泳の講習が開催されました。

着衣水泳研究会の指導員である池田由希宏先生の指導のもと、子どもたちは靴を履き、服を着たまふいてプールに入りました。「いつもより重い」「ベタベタする」など、水着とは違った感覚を実感していました。

川などでおぼれてしまったときは、救助が来るまで浮いて待つことが大切です。そこで、ペットボトルを活用するなどして、服を着たまふいてプールの中で浮く練習も行われました。いざというときに備え、貴重な講習となりました。